

第 1 回 (H20.5.1)

協議会の設立と鎌倉市の農業の現状を説明、各委員の農業に関して感じていることの見意見交換

【第 3 次鎌倉市総合計画 第 2 期基本計画】

現状と課題

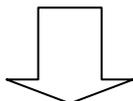
耕地面積、農家数及び農業従事者数はいずれも減少
農業経営の安定化を図り、担い手及び後継者の育成、確保が必要

目標

農業の経営安定と後継者の育成に努める
地域に即した都市農業の振興を目指す
土づくりなどを通じて環境にやさしい農業を進める

施策の方針

都市農業の振興
農地と消費地が近接している都市農業として、地域に即した農業の振興を図る
鎌倉ブランド事業の推進
新鮮で安全な農産物を供給するために、鎌倉ブランド事業を推進する

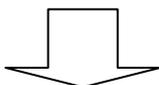


現地見学会 (H20.6.4) 実施・・・鎌倉市内の農地の状況などを把握

第 2 回 (H20.7.14)

鎌倉の農業振興について、6 つのテーマで意見交換

- 1 農地・農道の基盤整備 (農業生産基盤の整備)
- 2 新たな担い手育成・確保
- 3 鎌倉ブランド野菜の振興 (安全安心な野菜の供給、地産地消)
- 4 遊休農地の活用 (農地の有効利用)
- 5 市民と農業者の交流
- 6 直売所 (地産地消)



第 3 回 (H21.1.27)

第 2 回の意見交換から見えてきた 2 つのテーマで意見交換

遊休農地を農地に復旧し、活用することは、できるのか。
どのようなことが考えられか。
市民はどういう役割を果たせるか。

市民に鎌倉ブランド野菜 (鎌倉の農業) をもっと知ってもらうためには、何をすべきか。

「遊休農地解消対策について」、「鎌倉の農業を知ってもらうためには」について議論を深めていくこととした。